

新型コロナワクチン接種についてのお知らせ

5歳～11歳のお子様も新型コロナワクチンを受けることができます

5歳～11歳のお子様も、新型コロナワクチンを受けられるようになりました。国内の新型コロナ感染者全体に占める子どもの割合は増えています。

津久見市では、準備が整い次第、3月中に接種券、予診票、説明書、予約方法等を発送します。

ワクチンについて不安や疑問等があるときは、かかりつけ医や健康推進課にご相談ください。接種当日は母子健康手帳を持参しましょう。

接種費用

無料

(全額公費)

◎使用するワクチン

ファイザー社の5歳～11歳用のワクチンを使用します。子ども用のワクチンです(※)。通常、**3週間の間隔**をあけて、合計**2回接種**します。(※)ファイザー社の12歳以上のものに比べ、有効成分が1/3になっています。



◎接種の対象

●5歳～11歳の方

●特に、慢性呼吸器疾患、先天性心疾患など、重症化リスクの高い基礎疾患(※)を有するお子様は接種をおすすめしています。接種にあたっては、あらかじめかかりつけ医などよく相談してください。

(※)日本小児科学会では、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高い疾患の一覧等を公表しています。

日本小児科学会「新型コロナウイルス関連情報」 URL: https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=333



新型コロナワクチンをなぜ受けるの？

人の体の中に新型コロナウイルスが入りこみ仲間が増えると、
ねつ、だるさ、せき、息ぐるしさ、頭のいたみ、味覚の変化などがおきて、
体の調子が悪くなります。

ワクチンを受けると、体の中で新型コロナウイルスとたたかう用意ができるので、ウイルスが体に入っても、体の調子が悪くなりにくくなります。



ワクチンを早く受けている人や、ワクチンを受けられない理由がある人など、様々な人がいます。ワクチンを受けている、受けていないといった理由で周りの人を悪く言ったり、いじめたりすることは、絶対にあってはなりません。

新型コロナワクチンを受けるときは、どんなことに注意すればいいの？

受ける前

37.5℃以上のねつがあるときや、体の調子が悪いときは、
ワクチンを受けられないので、そのことをおうちの人に伝えましょう。

受ける時

ワクチンは肩の近くに注射します。
肩を出しやすい服で、受けに行きましょう。



受けた後

◎ワクチンを受けた後、15分以上はすわって様子をみましょう。
(30分様子をみる場合もあります)

◎当日はお風呂に入るなど、いつも通りの生活をするのは問題ありませんが、激しい運動はやめましょう。



◎ワクチンを受けると、以下の症状が出ることがありますが、2～3日で自然とよくなるのがわかっています。

- ねつ ○気持ちわるさ
- だるさ ○おなかをこわす
- 頭のいたみ
- さむけ



子どもに対する新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚生労働省 コロナ ワクチン 子ども 検索



津久見市役所 健康推進課

新型コロナウイルスワクチン接種対策チーム TEL 82-9523(直通)